

# CS1784

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CS1784 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2008年6月13日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

## ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

### 【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口へ連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

## 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

## 【補足】

- ・本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

<b>購入前のお問い合わせ</b>	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
<b>購入後のお問い合わせ</b>	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

FCC.....	8
RoHS .....	8
SJ/T 11364-2006 .....	9
安全にお使い頂くために .....	10
一般的な注意.....	10
同梱品 .....	12
本マニュアルについて.....	13
マニュアル表記について .....	14
<b>第1章 はじめに .....</b>	<b>15</b>
製品概要.....	15
特長.....	17
必要システム構成.....	18
コンソール.....	18
コンピュータ .....	18
ケーブル.....	19
OS.....	19
製品各部名称 .....	20
フロントパネル .....	20
リアパネル.....	22
<b>第2章 ハードウェアセットアップ.....</b>	<b>23</b>
ケーブルの接続.....	23
<b>第3章 基本操作 .....</b>	<b>25</b>
手動によるポート切替.....	25
ホットプラグ .....	25
電源 OFF / 再起動.....	26
ポート ID の割り当て .....	26
手動ポート選択の代替設定.....	26
<b>第4章 キーボードによるポート操作.....</b>	<b>27</b>
ポート切替 .....	27
ポート切替(サイクル切替) .....	28
ポート切替(ダイレクト切替) .....	29
オートスキャン.....	30
ホットキーセッティングモード.....	31

ホットキーセッティングモードの起動.....	31
ホットキーセッティングモードの起動代替キー.....	32
ポート切替の代替キー.....	32
キーボード設定.....	33
ホットキー設定の表示.....	33
USB リセット.....	34
ビープ音の設定変更.....	34
ポート切替 ホットキーの無効化.....	34
ファームウェアアップグレードモード.....	35
デフォルト設定の復元.....	35
ディスプレイエミュレーション機能.....	35
手動ポート選択の設定切替.....	36
マウスエミュレーション.....	36
その他の OS モード.....	36
ホットキーセッティングモード 一覧.....	37
<b>第 5 章 キーボードエミュレーション.....</b>	<b>38</b>
Mac キーボードエミュレーション.....	38
Sun キーボードエミュレーション.....	40
<b>第 6 章 ファームウェアアップグレードユーティリティ.....</b>	<b>41</b>
アップグレードの前に.....	41
アップグレード開始.....	43
アップグレード成功.....	46
アップグレード失敗.....	47
<b>付録.....</b>	<b>48</b>
製品仕様.....	48
トラブルシューティング.....	50
概要.....	50

## FCC

---

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



## SJ/T 11364-2006

---

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。

●: 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。

×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



## 安全にお使い頂くために

---

### 一般的な注意

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 製品は相間電圧 230V の配電装置向けに設計されています。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## 同梱品

---

CS1784 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS1784 4ポート USB2.0 DVI KVMP スイッチ ×1
- ◆ カスタム KVM ケーブル ×4
- ◆ USB-PS/2 コンバータ ×1
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ 電源アダプタ ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CS1784 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

**第1章 はじめに:** CS1784 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。

**第2章 ハードウェアセットアップ:** 基本的なセットアップの手順を、図を用いて説明しています。

**第3章 基本操作:** CS1784 の機能概要および操作方法について説明しています。

**第4章 キーボードによるポート操作:** CS1784 におけるキーボードホットキーの詳細内容、および操作方法について説明しています。

**第5章 キーボードエミュレーション:** Mac キーボードのエミュレーション、また、Sun キーボードのエミュレーションについて対応表を用いて説明します。

**第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CS1784 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

## マニュアル表記について

---

[ ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ( , )を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

# 第1章 はじめに

## 製品概要

---

CS1784 は、2 ポート KVM(キーボード、ビデオ、マウス)スイッチ機能に加え、2 ポート USB ハブ機能、DVI モニタ対応など、これまでになかった新機能を搭載した製品です。また、これに加え、CS1784 は、2.1 チャンネルのサラウンドサウンド機能にも対応しておりますので、動画や音声の再生時には、躍動感あふれたシアターオーディオをお楽しみいただけます。

KVM スイッチ機能としては、1組のコンソール(USB キーボード、USB マウス、モニタ)にて 4 台のコンピュータを操作する事ができます。USB ハブ機能としては、各コンピュータから CS1784 の USB ハブポートに接続された全ての周辺機器にアクセスする事が可能です。

CS1784 には、独立切替機能が搭載されており、あるコンピュータで USB デバイスを使用中でも、KVM フォーカスのみを他のポートに接続されたコンピュータに切り替えることが可能です。これにより、コンピュータ毎に USB ハブ・プリンタ・モデムスプリッター等を購入する必要がなくなります。

CS1784 は、これまでの KVM スイッチに改良を加え、DVI(Digital Visual Interface)コネクタを搭載し、USB 対応によってキーボード・マウス信号の高速転送を実現しました。DVI コネクタは、デジタルビデオ入力(フラットパネル、プロジェクター、プラズマディスプレイ、デジタル TV、セットトップボックス)、およびアナログビデオ入力の両方に対応しております。

オーディオ機能を求めるユーザーのニーズにこたえ、CS1784 は 2.1ch サラウンドサウンド機能を搭載しておりますが、それに加え、1 つのマイクで全てのコンピュータからのオーディオ入力を可能にし、また、1 セットのスピーカーで KVM スイッチに接続されたコンピュータのサウンドを楽しむこともできます。USB ハブ同様、オーディオ機能も KVM スイッチと独立して切り替えることが可能です。

セットアップは、ケーブルをそれぞれ適切なポートに接続するだけです。非常に簡単です。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることはありません。また、キーボードのエミュレーション機能により、異なるプラットフォーム(PC (X86/X64)、Macintosh Power PC、Sun Microsystems Sparc など)を操作する事が可能です。各コンピュータへの切替は、フロントパネ

ルにあるポート選択ボタンの操作と、ホットキーによる切替の2種類の方法をご用意しております。



## 特長

---

- ◆ USB2.0 および 2.1ch サラウンドオーディオ対応 4 ポート DVI KVM スイッチ
- ◆ 1 組の USB コンソールから 4 台のコンピュータおよび 2 ポート USB デバイスの操作が可能
- ◆ 2 ポート USB2.0 ハブ搭載
- ◆ ベースレスポンスに優れた 2.1ch サラウンドオーディオ出力搭載
- ◆ KVM・USB ハブ・オーディオの独立切替対応
- ◆ DVI-D および DVI-A 対応 - DVI 完全準拠、HDCP 対応
- ◆ VGA 解像度
  - DVI-D
    - 1,920×1,200@60Hz(シングルリンク)
    - 2,560×1,600@60Hz(デュアルリンク)
    - Apple Cinema Display (20 インチ、23 インチ、30 インチ)に対応
    - ViewSonic 22 インチ LCD モニタ VP2290b 対応 - 最大解像度 3,840×2,400@13Hz (シングルリンク)
  - DVI-A
    - 解像度 2,048×1,536、DDC2B 準拠
- ◆ ワイド画面对応
- ◆ フロントパネルのプッシュボタンおよびホットキーによるコンピュータの切替が可能
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows 2000/XP/Vista、Linux\*、Mac および Sun
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション、多機能マウス対応
- ◆ ディスプレイエミュレーション - KVM スイッチはディスプレイメーカーおよびディスプレイ情報を記憶
- ◆ キーボードエミュレーション対応により、キーボード未接続時におけるブートエラーを回避
- ◆ Sun / Mac キーボードエミュレーション対応
- ◆ モニタリングに最適なオートスキャンモード搭載
- ◆ ファームウェアアップグレード対応

---

\* Linux はカーネル 2.6 以降に対応しております。また、CS1784 は USB2.0 ハブを内蔵しておりますので、USB2.0 に対応していない PC および OS はサポート対象外です。

## 必要システム構成

---

### コンソール

- ◆ コンピュータの最大解像度に対応した DVI モニタ
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード
- ◆ マイクおよびスピーカー

---

**注意:** 製品に同梱されているコンバータをご使用いただくことにより、PS/2 キーボード・PS/2 マウスをご使用いただくことも可能です。

---

### コンピュータ

接続するコンピュータが以下の条件を満たしている必要があります。

- ◆ DVI ポート

---

**注意:** 表示画質は、DVI ビデオカードの品質に左右されます。最適な状態でお使いいただくために、高画質に対応した DVI ビデオカードのご購入をお勧めします。

---

- ◆ USB Type A ポート
- ◆ オーディオポート(オプション)

## ケーブル

マイク(ピンク)および 2.1ch サラウンドスピーカー(グリーン)の各コネクタが搭載された、1.8m DVI KVM ケーブルが 4 本 同梱されます。

## OS

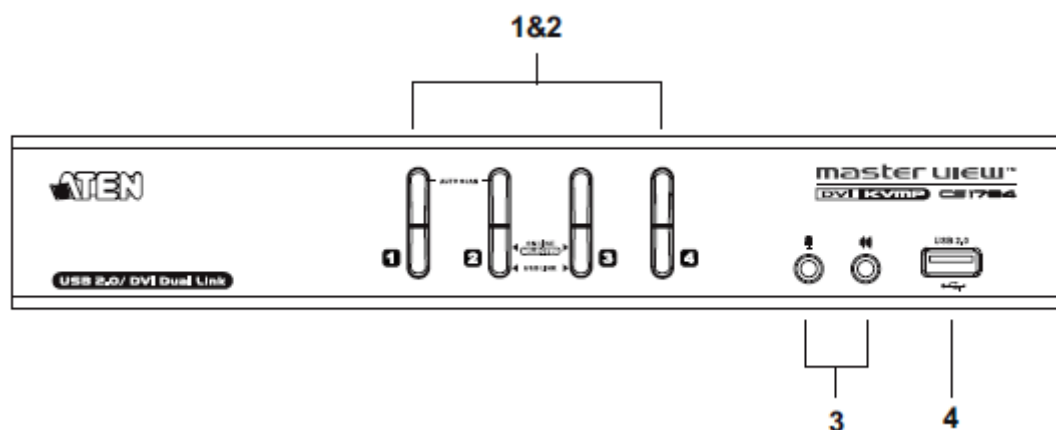
本製品は下記の OS 環境での使用に対応しております。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	9.0 以降、Fedora Core 4 以降
	SuSE	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	Free BSD	4.2 以降
	Sun	Solaris 9 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS9.0 以降
DOS		6.22 以降

**注意:** Linux はカーネル 2.6 以降に対応しております。

## 製品各部名称

### フロントパネル

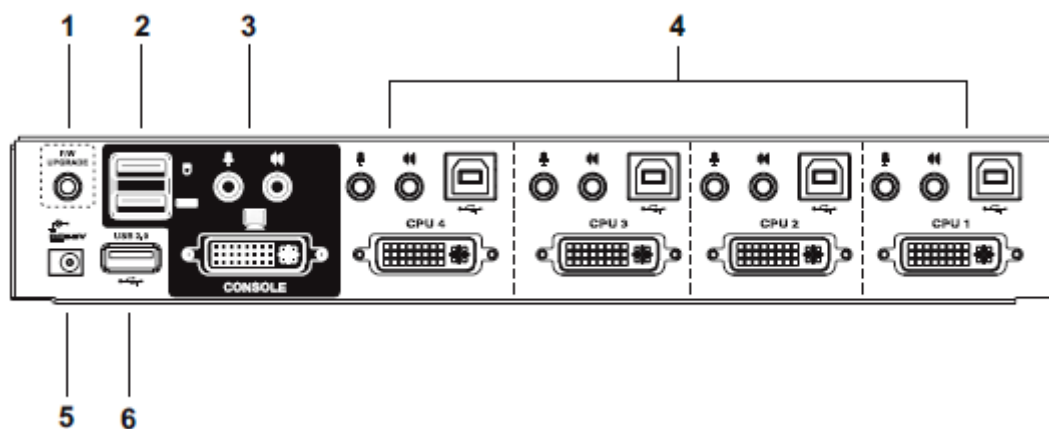


No.	名称	説明
1	ポート選択ボタン	<p>ポート選択ボタンを 2 秒以上押すと、KVM、USB ハブ、オーディオをすべて同時に選択されたコンピュータに切り替えます。</p> <p>ポート選択ボタンを押す時間が 2 秒以下の場合、KVM のみを選択されたコンピュータに切り替えます。</p> <p>ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒間以上押したままにすると、オートスキャンを開始します。詳細は p.30 の「オートスキャン」をご参照ください。</p>

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
2	ポート LED	<p>ポート LED はポート選択ボタンに内蔵されています。上部の LED が KVM ポート LED、下部の LED が USB LED です。</p> <p><b>KVM</b></p> <p>LED が暗いオレンジ色に点灯しているときは、ポートに接続されたコンピュータに電源が入っていることを示します。(ON LINE : オンライン)</p> <p>LED が明るいオレンジ色に点灯している時は、対応ポートがコンソールとして選択されている事を示します。(SELECTED : 選択中)</p> <p>LED が点滅している時は、オートスキャンモードであることを示します。</p> <p><b>USB</b></p> <p>LED が明るいグリーンに点灯しているときは、対応ポートに接続されたコンピュータが、USB ハブに接続された周辺機器にアクセスしていることを示します。</p>
3	コンソールポート (オーディオ)	<p>ご使用されるスピーカーとマイクをこちらに接続します。</p>
4	USB ハブ 2.0 ポート	<p>USB2.0 対応 周辺機器(プリンタ・スキャナなど)をこちらのポートに接続します。</p>

## リアパネル



No.	名称	説明
1	ファームウェアアップグレードポート	ファームウェアアップグレードケーブルを使用し、管理者のコンピュータからファームウェアを転送する際、こちらに接続します。ファームウェアのアップグレードに関する詳細は p.41 をご参照ください。
2	USB コンソールポート	USB キーボードと USB マウスを接続します。
3	コンソールポート	コンソールで使用するモニターケーブル、マイク、およびスピーカーをこちらに接続します。
4	CPU ポート	対応 KVM ケーブルを使用しスイッチとコンピュータを接続します。各ポートは、マイクジャック、スピーカージャック、USB Type B ソケット、および DVI コネクタによって構成されています。
5	電源ジャック	電源アダプタのケーブルをこちらに接続します。
6	USB ハブ 2.0 ポート	USB2.0 周辺機器(プリンタ・スキャナなど)を接続する事が可能です。

## 第2章

# ハードウェアセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.10 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。

### ケーブルの接続

---

CS1784 のセットアップは、次ページの図(図内における番号は手順の番号に対応)を参考にしながら、以下の手順に従い作業をおこなってください。

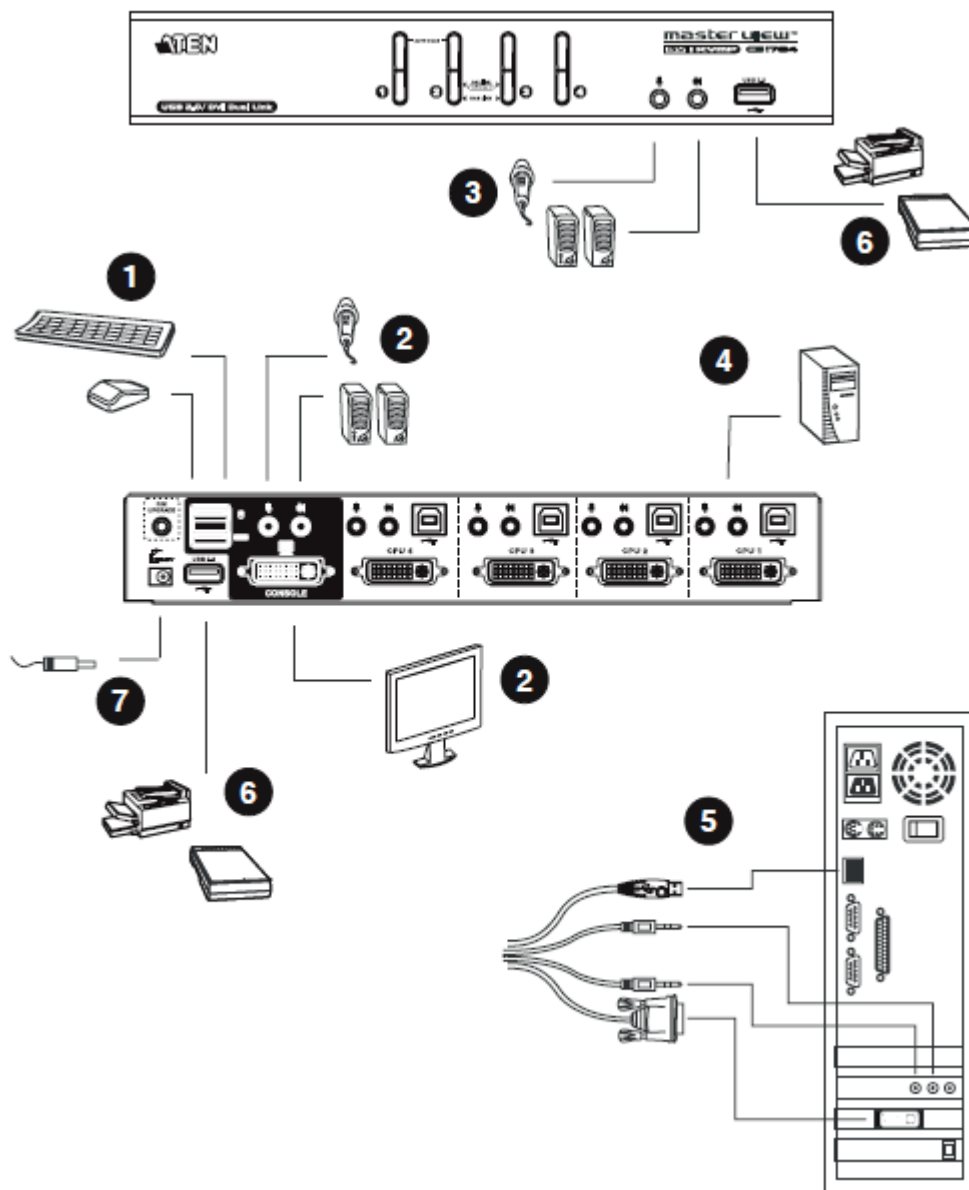
1. USB キーボード・USB マウスを、リアパネルにある USB コンソールポートに接続してください。
2. マイク・スピーカー・モニタをリアパネルにあるコンソールポートに接続し、モニタに電源を入れてください。
3. メインでお使いのマイクおよびスピーカーのコネクタを、フロントパネルにあるコンソールマイクおよびスピーカーの各ジャックに接続してください。ここで接続されたマイクとスピーカーは、リアパネルに接続されたものよりも優先されます。
4. 同梱されている KVM ケーブルを使用し、DVI コネクタを本体 KVM ポートセクションの DVI ポートに接続してください。同ケーブルに付属している USB・マイク・スピーカーの各コネクタを該当ポートに同様に接続してください。

---

**注意:** 1 本のケーブルに付属している各コネクタが同一 CPU ポートに接続されている事を確認してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。

---

5. ケーブルの反対側にあるUSB・モニタ・マイク・スピーカーの各コネクタをコンピュータの該当ポートに接続してください。
6. USB 周辺機器は、フロントおよびリアパネルのUSB ハブポートに接続してください。(USB ハブポートは、フロントパネル、リアパネルに1箇所ずつご用意しております。)
7. 製品に同梱されている電源アダプタをコンセントに挿し、電源アダプタのプラグを本体の電源ジャックに接続してください。
8. コンピュータに電源を入れてください。





# 第3章

## 基本操作

### 手動によるポート切替

---

CS1784 に接続されたコンピュータにアクセスする場合、2 通りの方法があります。1 つは、製品のフロントパネルにあるポート選択ボタンを押す方法、そしてもう 1 つはキーボードからの直感的な操作ができるホットキーを使用する方法です。ホットキーによるポート切替は、第 4 章にてご紹介します。

手動でポートを切り替える場合は、以下の方法で操作してください。

- ◆ ポート選択ボタンを押してすぐ離すと、KVM フォーカスを、選択したポートに接続されたコンピュータに切り替えます。USB ハブおよび、オーディオは切り替わりません。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 度押すと、オーディオのみを、選択したポートに接続されたコンピュータに切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押すと、KVM、USB ハブ、オーディオを、すべて同時に選択されたコンピュータに切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒間以上押したままにすると、オートスキャンを開始します。詳細は p.30 をご参照ください。

- 
- 注意:**
1. ポート選択ボタンを押すと、オートスキャンモードを停止する事ができません。KVM は、プッシュボタンで選択されたポートに接続されたコンピュータに切り替わります。
  2. 長押し操作の受付時間があるため、ボタン操作の後、ポート切り替わりまでタイミングがあります。
- 

### ホットプラグ

---

CS1784 は、USB ホットプラグに対応しています。コンポーネントはシャットダウンすることなく、USB ハブポートに対するケーブルの接続・取り外しが可能です。

## 電源 OFF / 再起動

---

CS1784 の電源を切る必要がある場合、以下の手順で再起動をおこなってください。

1. CS1784 に接続されている全てのコンピュータをシャットダウンしてください。
2. スイッチに接続している電源アダプタを抜いてください。
3. 10 秒ほど待機した後で、スイッチに電源アダプタを挿しなおしてください。
4. スイッチに電源が供給されたら、最後にコンピュータの電源を入れてください。

## ポート ID の割り当て

---

CS1784 の CPU ポートには、ポート番号が割り当てられています。(ポート番号1~4) ポート番号は、リアパネルに記されています。(詳細は p.22 参照)

ポート ID は、そのコンピュータを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート 2 に接続されたポート ID は 2 になります。

ポート ID は KVM、USB 周辺機器、オーディオのコントロールをホットキーによって切り替える時に使用します。(p.27 参照)

## 手動ポート選択の代替設定

---

ホットキーセッティングモードが有効である場合、[S]キーを押すと、手動ポート選択の代替設定(デフォルト以外の設定)によってポート選択が行えるようになります。(p.36 参照)

- ◆ ポート選択ボタンを 1 回押すと、KVM、USB ハブ、オーディオの各フォーカスを、選択したポートに接続されたコンピュータに同時に切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 回押すと、オーディオのフォーカスを、選択したポートに接続されたコンピュータに切り替えます。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押すと、KVM フォーカスのみを、選択されたコンピュータに切り替えます。(USB ハブおよび、オーディオは切り替わりません。)
- ◆ ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒間以上押したままにすると、オートスキャンを開始します。(p.30 参照)

# 第4章

## キーボードによるポート操作

CS1784 は、拡張性に富み、操作性の高い便利なホットキー機能を搭載しており、操作と設定はすべてキーボードから行います。KVM・USB・オーディオの独立切替もホットキーで操作可能ですので、ポート1でKVMを利用中に、ポート2ではUSBハブとオーディオを使用するといった使い方も可能です。

### ポート切替

---

ホットキーによるポートの切替は、すべて[Scroll Lock]キー2度押しから開始します。以下の表は各ホットキーの操作内容について説明したものです。

---

**注意:** [Scroll Lock]キーが他のアプリケーション操作と競合を起こしている場合、ホットキー設定モードにて、[Ctrl]キーに設定変更をすることが可能です。詳細は p.32 をご参照ください。

---

## ポート切替(サイクル切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に次のポートに切り替えます。切替順は以下のとおりです。 CS1784: 1→2→3→4→1→2→……
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。

## ポート切替(ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [U] [Enter]	KVM コントロール、USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。  <b>注意:</b> [Num Lock][+][n][Enter]のホットキーでも同様の操作を行うことができます。

**注意:** 表中の n は、コンピュータのポート ID を表しております。(1~4) 詳細については、p.26 の「ポート ID の割り当て」をご参照ください。また、ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の n の部分に切替対象となるポート ID を適宜入力してください。

## オートスキャン

CS1784のオートスキャン機能は、一定間隔で自動的にポートを切り替えて表示します。この機能によって、手動で操作しなくても、KVM スイッチに接続されたすべてのコンピュータの状態を監視することができます。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が <b>5 秒間隔</b> で切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が <b>n 秒間隔</b> で切り替わります。

- 注意:**
1. **n** は CS1784 がオートスキャンを行う際のポートの切替間隔(秒)を示します。**n** は、1~99 秒まで設定する事が可能です。
  2. オートスキャンモード有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード・マウスの機能が無効になります。通常のキーボード・マウス入力を行う場合には、オートスキャンモードを終了してください。
  3. オートスキャンモードの実行中は、表示内容がポートごとに切り替わりますが、このときキーボード、マウス、USB ハブのフォーカスは切り替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートにとどまったままになります。

## ホットキーセッティングモード

---

ホットキーセッティングモードではCS1784の設定を行います。すべての操作はホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。

### ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードは以下の手順で実行してください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押して、すぐに離します。
3. [Num Lock]キーを離します。

---

**注意:** ホットキーセッティングモードの起動は他のキー操作でも可能です。下記をご参照ください。

---

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了するとLED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、HSM で有効な操作以外、通常のキーボード・マウス入力はすべて無効になります。

ホットキーセッティングモードでの操作は、コマンド実行後にセッティングモードが解除されるものと、継続するものがあります。手動でセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

## ホットキーセッティングモードの起動代替キー

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力 ([Num Lock]+[-]) がコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合にそなえ、[Ctrl]+[F12]という入力も可能です。

設定を変更する場合には以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [H]キーを入力します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーに変更されます。

---

**注意:** この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[H] キーを入力してください。

---

## ポート切替の代替キー

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キーがコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合にそなえ、[Ctrl]キーを使用することもできます。設定変更には以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [T]キーを入力します。

---

**注意:** この操作は[Scroll Lock]、[Ctrl]を交互に切替えて設定します。デフォルトの[Scroll Lock]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[T]キーを入力してください。

---



## キーボード設定

CS1784 のコンピュータポートは、デフォルトで PC (Windows、Linux など) 向けに設定されており、コンソールとして使用するキーボードも PC/AT 互換キーボードを想定しています。Mac や Sun を接続して操作する場合には、PC/AT 互換キーボードでも Mac や Sun の特殊キー操作が行えるように、各ポートのキーボード設定を行うことができます。また、PC/AT 互換キーボードでなく、Mac 用キーボード、Sun 用キーボードを接続してコンソールとして使用することもできます。

1. キーボード設定を行いたいポートを選択します。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
3. プラットフォームに合わせた設定のファンクションキーを入力します(下表参照)。  
ファンクションキー入力後、ホットキーセッティングモードは自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。(p.38 参照) PC/AT 互換キーボードで、Mac の特殊キー操作ができます。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。(p.40 参照) PC/AT 互換キーボードで、Sun の特殊キー操作ができます。
[F10]	コンソールとして PC/AT 互換キーボードではなく、Mac 用キーボードや Sun 用キーボードを使用してそれらのシステムを操作するときには、この設定にしてください。

## ホットキー設定の表示

現在のホットキー設定を表示するには、以下の操作を行ってください。

1. テキストエディタ、またはワープロソフトを開き、ペースト機能が使えるようにしておきます。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
3. [F4]キーを入力します。

## USB リセット

USB デバイスがコントロールを失いリセットする必要がある場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [F5]キーを入力します。

## ビープ音の設定変更

ポート切替時に鳴るビープ音を有効または無効にするには以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [B]キーを入力します。

## ポート切替 ホットキーの無効化

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キー2 度押し(または[Ctrl]キー2 度押し)を無効にしたい場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [X] [Enter]を入力します。

---

**注意:** 無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

---

## ファームウェアアップグレードモード

CS1784 のファームウェアアップグレードを行う場合は以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. キーボードで *upgrade* と入力します。
3. [Enter] を入力します。

この操作を行うとフロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

---

**注意:** ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、スイッチの電源をオフにしてください。

---

## デフォルト設定の復元

CS1784 のホットキー設定をすべてデフォルトの状態に戻すには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [R] [Enter] を入力します。

この操作によりすべての設定変更がリセットされ、デフォルトの状態に戻ります。

## ディスプレイエミュレーション機能

CS1784 は KVM スイッチに接続されたディスプレイのメーカー名やディスプレイに関する情報を読み込み、記憶するディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。この機能を利用する場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [D] キーを入力します。

## 手動ポート選択の設定切替

フロントパネルのプッシュボタンによる手動ポート選択の設定を、デフォルト設定と代替設定の間で切り替える場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [S]キーを入力します。

プッシュボタンを手動で操作してポートを切り替える場合の代替設定に関する詳細は、p.26 をご参照ください。

## マウスエミュレーション

マウスエミュレーションを有効、または無効にする場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [M]キーを入力します。

## その他の OS モード

USB 2.0 に対応していない一部の OS のコンピュータを接続すると、キーボードやマウスが反応しない場合があります。このような場合にキーボード・マウスをリセットする場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [F1]キーを入力します。

## ホットキーセッティングモード 一覧








ホットキーセッティングモード(p.31 参照)を有効にした後、追加で入力するキーとその機能は以下の表のとおりです。

キー	機能
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーを変更します。
[T]	ポート切替キーを変更します。
[F2]	キーボードマッピングを Mac 対応に設定します。
[F3]	キーボードマッピングを Sun 対応に設定します。
[F10]	キーボードエミュレーションマッピングを無効にします。キー入力の信号はそのままコンピュータに送られます。
[F4]	現在のホットキー設定をコピーし、テキストエディタにペーストします。
[F5]	USB キーボード・USB マウスをリセットします。
[A]	オートスキャンモードを起動します。
[B]	ビープ音のオン/オフを切り替えます。
[X] [Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします。
[R] [Enter]	デフォルト設定を復元します。
<i>upgrade</i> [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。
[D]	ポートに接続されているコンピュータのディスプレイの EDID の読み取り保存機能を有効にします。
[S]	ポート選択ボタン操作の設定をデフォルト設定と代替設定の間で切り替えます。
[M]	マウスエミュレーション機能を有効/無効にします。
[F1]	一部の OS でキーボード・マウスをリセットします。

# 第5章 キーボードエミュレーション

## Mac キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15



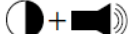




---

**注意:** 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー([Ctrl]キー)を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

---

## Sun キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Sun キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

**注意:** 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー ([Ctrl]キー) を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。



# 第6章

## ファームウェア アップグレード ユーティリティ

---

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティは、スムーズかつ簡単な操作で KVM スイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

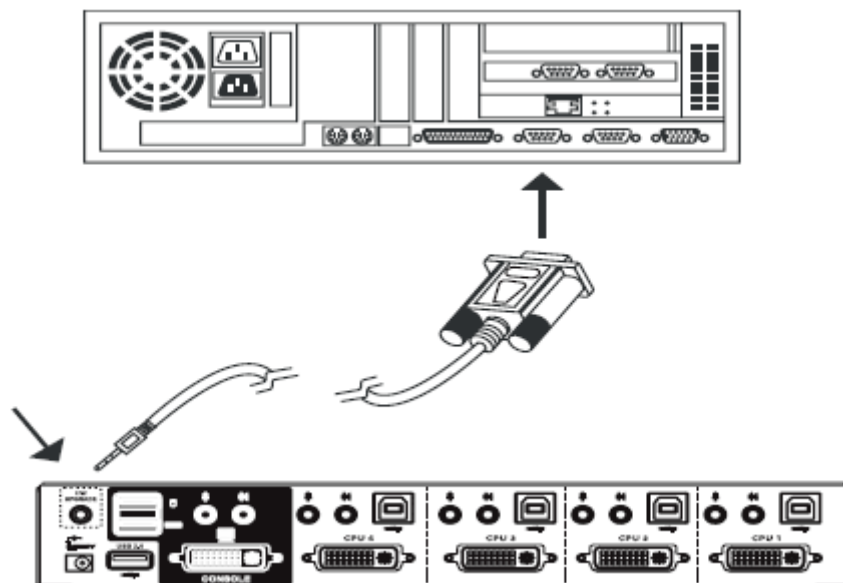
ファームウェアアップグレードパッケージはデバイス別に用意されています。新しいファームウェアパッケージは弊社 web サイトで公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 web サイトをご覧ください。<http://www.aten.com/download/download.php>

### アップグレードの前に

---

ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. KVM スイッチに接続されているコンピュータとは別に、インターネット接続可能なコンピュータを用意してください。弊社 web サイトにアクセスして製品型番で検索し、ファームウェアのリストから CS1784 の最新版パッケージを選択してください。
2. 最新版パッケージをダウンロードし、コンピュータの任意のディレクトリに保存してください。
3. 同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、パッケージを保存したコンピュータの COM ポートとスイッチ リアパネルのファームウェアアップグレードポートを接続します。



4. スイッチに接続されたコンピュータをシャットダウンします。
5. スイッチをファームウェアアップグレードモードにします(詳細は p.35)。フロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

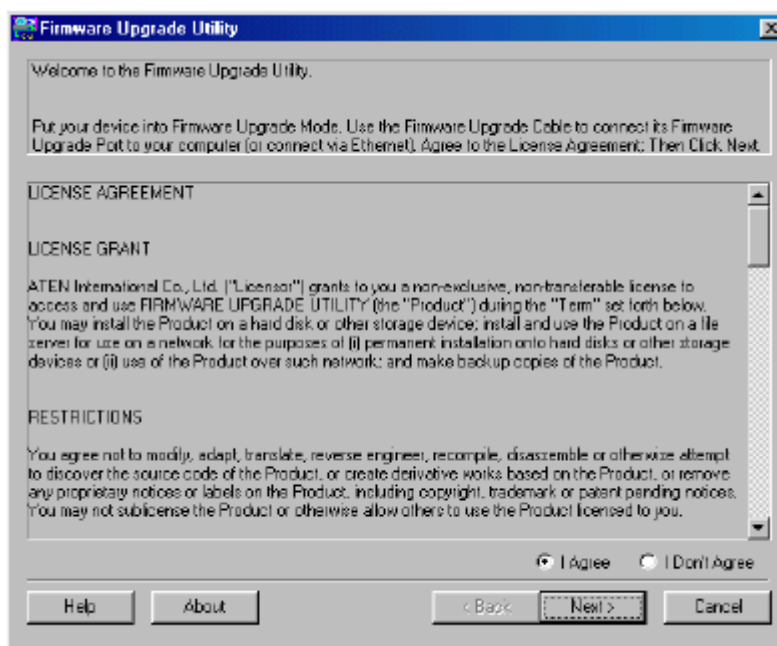
これでアップグレードの準備が整いました。

## アップグレード開始

---

以下の手順に従ってアップグレード作業を進めてください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリックまたはコマンドラインでフルパスを入力して実行します。以下のようなライセンス認証確認画面が表示されます。

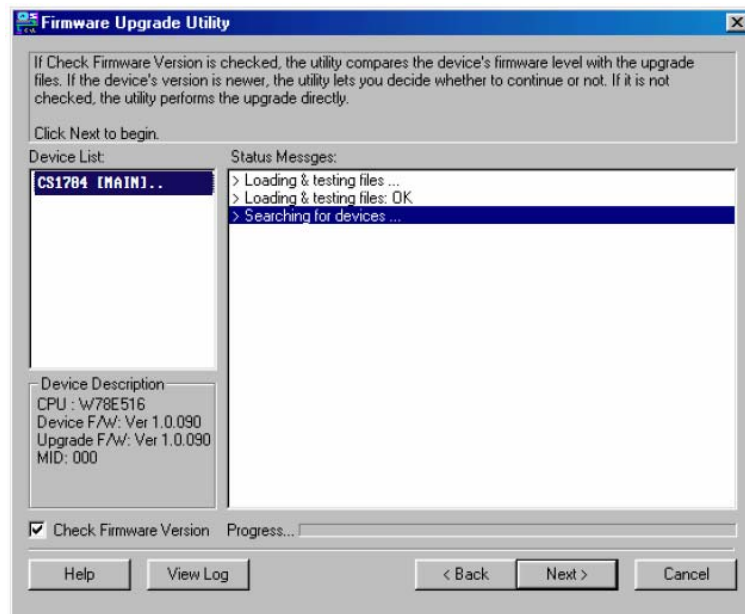


---

**注意:** 実際に表示される確認画面は、このスクリーンショットと異なる場合があります。

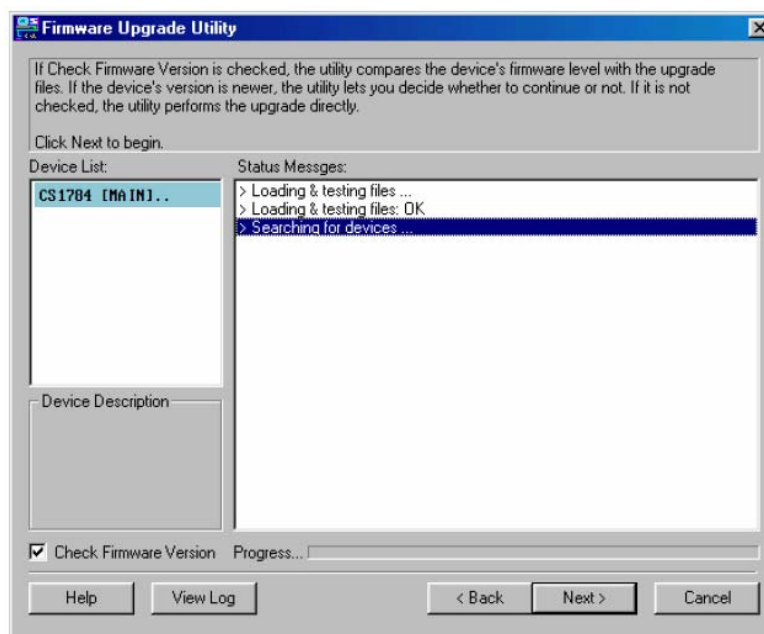
---

2. ライセンス規約に同意したら「I Agree」ラジオボタンをオンにします。
3. 「Next」ボタンを押して次に進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティ メイン画面が表示されます。

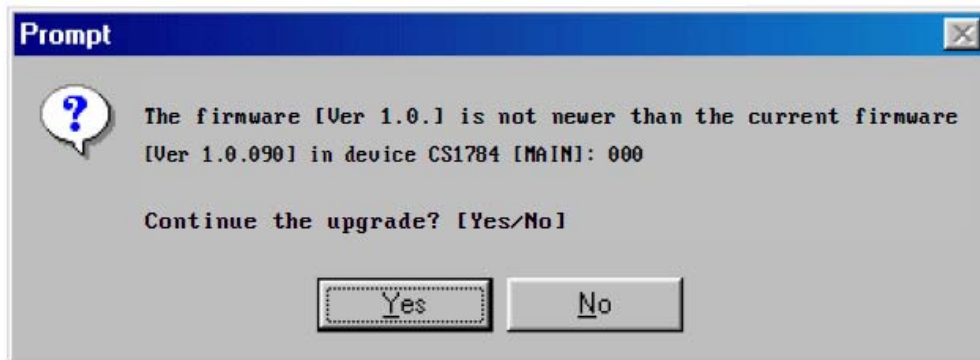


ファームウェアアップグレードユーティリティは、お使いの CS1784 の環境を自動検出し、そのパッケージでアップグレード可能なデバイスの一覧が「Device List」フィールドに表示されます。

- 「Device List」フィールドで選択されたデバイスの詳細が、画面左下の「Device Description」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択後、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行します。



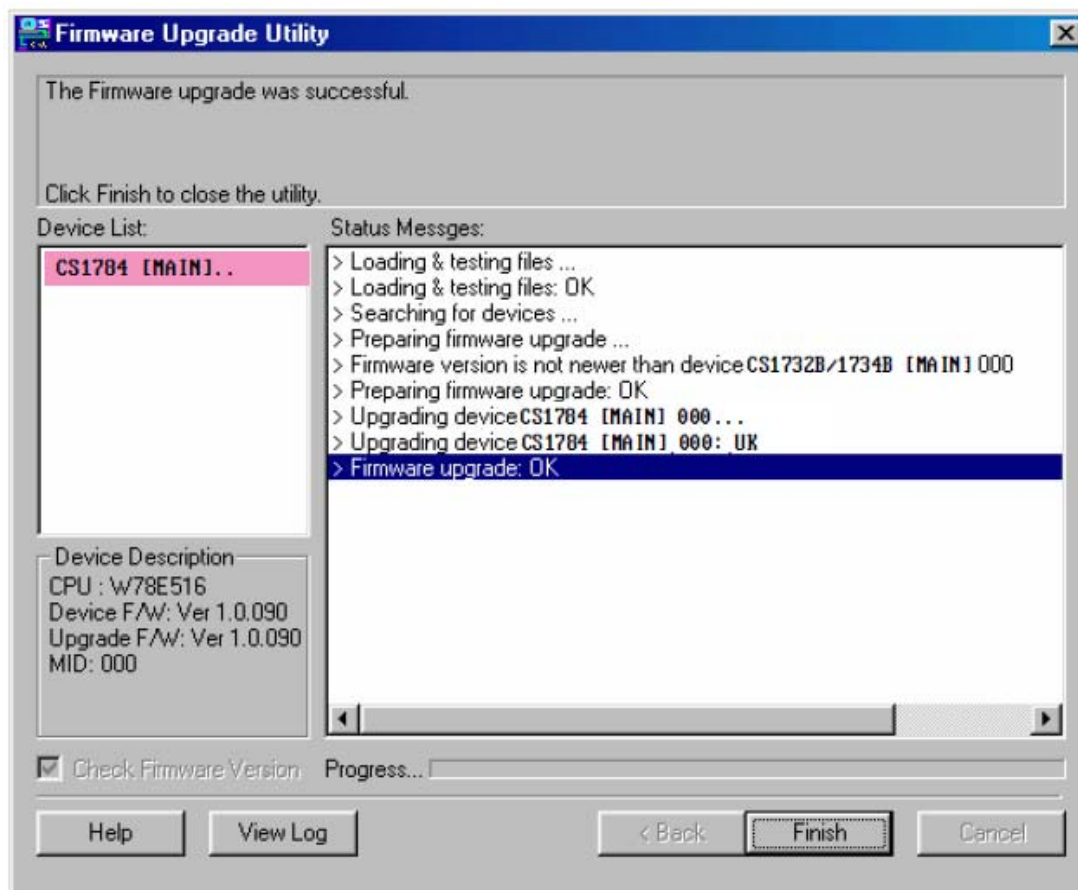
ここで「Check Firmware Version」にチェックが入っている場合、ユーティリティは現在のファームウェアバージョンとアップグレードパッケージのバージョンを比較します。もし現在使用のバージョンがアップグレードパッケージよりも高い場合は、このようなダイアログボックスが表示され、アップグレード実行継続/中止の確認を行います。

「Check Firmware Version」にチェックが入っていない場合、ユーティリティはバージョン比較をせずにアップグレードを行います。

アップグレードの進捗状況はステータスフィールドとプログレスバーで表示されます。

## アップグレード成功

アップグレード完了後、アップグレード成功のメッセージが表示されます。



「Finish」ボタンを押してファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

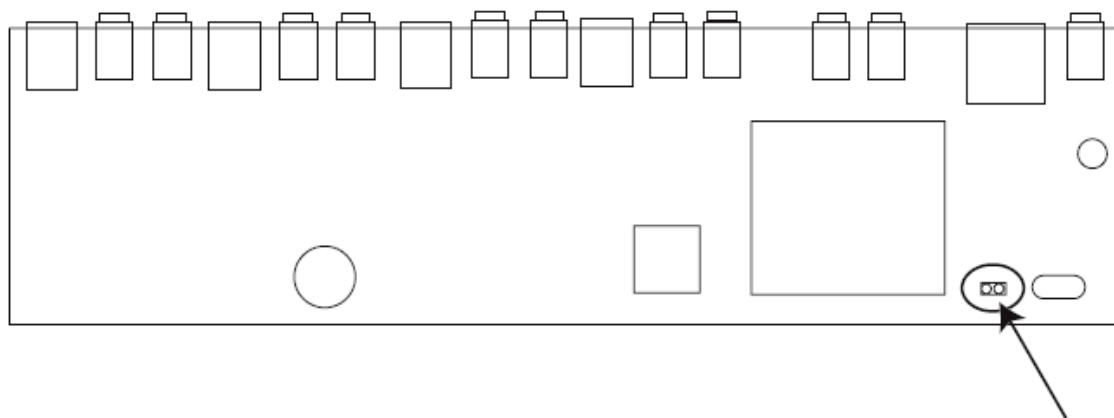
ユーティリティ終了後、スイッチは自動的にファームウェアアップグレードモードを終了し、リセットを行います。

## アップグレード失敗

---

アップグレード成功画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に終了しなかったことを意味します。この場合、以下の手順で作業を行ってください。

1. CS1784 の電源を切り、ケースを取り外します。
2. ジャンパキャップを使って、メインボード上の「J17」と記載されているジャンパをショートさせてください。該当ジャンパの場所は、下図の矢印で示された部分です。



3. CS1784 に電源を入れてください。このとき、CS1784 は工場出荷時のデフォルトファームウェアで動作します。
4. ファームウェアのアップグレードを最初からやり直してください。
5. ファームウェアが完了したら、CS1784 の電源を切り、J17 にかぶせてあったジャンパキャップをはずします。ケースを元に戻したら CS1784 に再度電源を入れてください。

# 付録

## 製品仕様

機能		CS1784
コンピュータ接続数		4
コンソール接続数		1
コンピュータ側 対応インターフェース	キーボード マウス	USB
コンソール側 対応インターフェース	キーボード マウス	USB
ポート選択方法		プッシュボタン、ホットキー
コンピュータ側コネクタ	キーボード	USB タイプ B メス×4
	マウス	
	モニタ	DVI-I メス×4
	スピーカー	ミニオーディオジャック×4
	マイク	ミニオーディオジャック×4
コンソール側コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1
	マウス	USB タイプ A メス×1
	モニタ	DVI-I メス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャック×2
	マイク	ミニオーディオジャック×2
スイッチ	ポート選択	プッシュボタン×4
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2
ファームウェアアップグレードポート		ミニオーディオジャック×1
電源ジャック		DC 電源ジャック×1
LED	USB リンク	グリーン×4
	オンライン /選択ポート	オレンジ×4
キーボード・マウスエミュレーション		USB



機能		CS1784
スキャンインターバル		1～99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0605-241G 入力:AC 100V～240V 出力:DC5.3V 2.4A
消費電力		9W
VGA 解像度		DVI-D:2,560×1,600 @60Hz (デュアルリンク) DVI-D:3,840×2,400 @13Hz、60Hz (シングルリンク) DVI-D:1,920×1,200 @13Hz (シングルリンク) DVI-A:2,048×1,536 DDC2B 準拠
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20℃～60℃
	湿度	0～80%RH 結露なきこと
ケース材料		メタル
重量		940g
サイズ(W×D×H)		270×87×55mm
同梱品		DVI-D ケーブル(1.8m)×4 ※ 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1 ファームウェアアップグレードケーブル×1 USB→PS/2 変換ケーブル×1

※ CS1784 同梱のケーブルは DVI デュアルリンク専用ケーブルです。CS-1762/1764 用ケーブルとは異なります。

## トラブルシューティング

### 概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが KVM スイッチおよびコンピュータの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、これらの問題は、ファームウェアのアップグレードの適用によって解決することがあります。現在お使いのバージョンが最新でない場合は、最新版のファームウェアを適用することをお勧めします。詳細については p.41 の「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

症状	考えられる原因	対処
マウスやキーボードからの入りに反応しない。	誤った方法でマウスやキーボードのリセットを行った可能性があります。	コンソールポートからケーブルを一旦抜いて挿しなおしてください。
	KVM スイッチのリセットが必要です。	接続したすべてのデバイス・KVM スイッチの電源をオフにし、5 秒以上経過してから、再起動してください。
USB ハブに接続したデバイスが反応しない。	USB リセットが必要です。	リアパネルに接続した USB デバイスのコネクタを接続し直してください。
	PC または OS が USB2.0 をサポートしていない可能性があります。	CS1784 は USB2.0 ハブを内蔵しておりますので、USB2.0 をサポートしていない PC や OS ではこのハブをご利用いただけません。 USB2.0 をサポートしていない OS をお使いの場合、[F1]キーのホットキーを使ってキーボードやマウスをリセットすることができます。詳細は p.36 の「マウスエミュレーション」にある注意書きをご参照ください。

(表は次のページに続きます)

症状	考えられる原因	対処
デバイスが認識され ない。(Windows)	Windows がデバイスを認識する タイミングに問題があったかもし れません。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータの USB ポートから KVM ケーブルを抜いてくださ い。</li> <li>2. [コントロールパネル]–[シス テム]–[ハードウェア]–[デバ イスマネージャ]から不明なデ バイスを削除してください。</li> <li>3. KVM ケーブルを挿しなおして ください。Windows がデバイ スを認識します。</li> </ol>